

インフォメーションディスプレイ

^{形名} PN-C603B





お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用の前に「安全にお使いいただくために」(3ページ)を必ずお読みください。

●この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保管してください。

もくじ

安全にお使いいただくために	… З
使用上のご注意	5
付属品を確認する・・・・・	7
動作条件·····	7
各部の名前・・・・・・	8
設置について	10
機器の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
電源の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
ケーブル処理のしかた	12
スタンド穴保護用カバーの付けかた	12
リモコンの準備・・・・・	13
電池の入れかた	13
リモコンで操作できる範囲	13
電源の入/切をする・・・・・	14
電源を入れる / 切る	14
タッチ操作・・・・・	15
タッチ操作	15
タッチペンについて	17
その他の機能について	17
使用上のご注意	17

基本的な操作・・・・・	18
リモコン / 本機のボタンで操作する	18
各種設定メニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
メニューの基本操作	20
メニュー項目の詳細	21
コンピューター画面の調整について	24
コンピューターで本機を制御する(RS-232C)	25
接続のしかた	25
通信仕様	25
通信手順	25
RS-232C コマンドー覧表	26
故障かな?と思ったら	27
アフターサービスについて	29
仕様	30
設置時の注意事項(ご販売店・設置業者様用)	35

ペンソフトについては、ペンソフト取扱説明書をご覧ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用 者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- ※ クラス A 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用して ください。
 - HDMI入力端子, D-sub入力端子, RS-232C入力端子

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりの お客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が 認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。 残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。 その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解し てから本文をお読みください。

図記号の意味 (図記号の一例です。)

記号は、気をつける必要がある ことを表しています。

3 記号は、してはいけない ことを表しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示し <u>敬</u>上 ています。 電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲 クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。 火災や感電の原因となります。 げない。本機や重いものの下敷きにしない。加熱し ない。加工しない。また、熱器具に近づけない。 電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。 ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所 で使用しない。 電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、 指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因と アンモニア、オゾンなど)の存在する環境で使用し なります。 ない。 火災の原因となります。 雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグ οÇ, 本機の裏ぶたを外さない。改造しない。 をコンセントから抜く。 火災や感電の原因となります。 内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の 原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの 発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの 販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。 0-5-異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プ ラグをコンセントから抜く。 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因と 感電の原因となります。 なります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談 窓口にご連絡ください。 本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさ ない。 機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、 火災や感電の原因となります。 本機の上や近くに花びんなど、水の入った容器を置 そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 かないでください。 お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連 風呂やシャワー室では使用しないでください。 絡ください。 エアコン等水を排出する機器にも注意してください。 電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付 航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器 着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込み 取り除く。 や制御などを目的とした使用はできません。 そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、 0€, 電源プラグをコンセントから抜く。 そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連 絡ください。

安全にお使いいただくために



使用上のご注意

- コンピューター起動時は、画面に触らないでください。画面に触れると、正しく動作しない場合があります。その場合は、コンピューターを再起動させてください。
- タッチパネルを接続しているコンピューターに他の USB 機器が接続されている場合、タッチパネル入力中に USB 機器を動作させないでください。正しく入力できない場合 があります。
- 2台のディスプレイを接続したコンピューターで2台の タッチパネルを使用することはできません。 プライマリーモニターとして設定されたディスプレイの タッチパネルのみ動作します。

お手入れのしかた

必ず電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行っ てください。

◆キャビネットの部分

- ・ 汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布を よく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、 ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないで ください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

◆画面の部分

- ・ 画面の表面は、柔らかい布(レンズクロスやガーゼなど)
 で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこ
 すったりすると、表面に傷がつきますのでご注意ください。
- ・ 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ(除 じん用ブラシ)をお使いください。
- ・ 画面の保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学 ぞうきんでふきとらないでください。
- 赤外線受発信部が汚れると正しく動作しない場合があります。汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 赤外線受発信部の内部にほこりがたまると、赤外線の発信 や受信が正しく行えず動作不良になります。内部に入った ほこりの清掃は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談 窓口にご依頼ください(有償)。

ツメ、鉛筆などの硬いものや鋭利なもので操作しないでくだ さい

電磁波妨害に注意してください

本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

周囲温度は 5℃~35℃の範囲内でご使用ください

低温になる部屋(場所)でご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

直射日光・熱気は避けてください

- 温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 液晶や部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場 所や熱器具の近くに置かないでください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

• 急激な温度差がある部屋(場所)で使用すると、画面の表 示品位が低下する場合があります。

長時間ご使用にならないとき

・長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラ グをコンセントから抜いてください。

海外では使用できません

 本機を使用できるのは日本国内だけです。
 This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露(つゆつき)について

 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房 などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に 結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露 がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因と なります。(結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてく ださい。)

使用が制限されている場所

・航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使 用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

LED バックライトについて

本機に使用しているLEDバックライトには、寿命があります。
 画面が暗くなったり、点灯しないときは、お買いあげの販売
 店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

連続稼働時間と保証について

・ 当製品は、1日16時間以内での使用時間を前提に設計されています。1日16時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。

取扱説明書について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、 HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Readerはアドビシステムズ社の米国 ならびに他の国における商標または登録商標です。
- インテル、Celeron、Intel Core 2 Duo は、アメリカ合 衆国およびその他の国における Intel Corporation または その子会社の商標または登録商標です。
- AMD、AMD Sempron、AMD Athlon およびその組み 合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

□本体:1台



リモコン用乾電池(単3形):2本
 CD-ROM(ユーティリティディスク):1枚
 セットアップマニュアル:1部
 保証書:1部
 タッチペン:1本
 トレー:1個
 トレー取付ネジ(M3):5個
 USB延長ケーブル(約3m):1個
 ケーブルクランプ(貼付式):2個
 スタンド穴保護用カバー:2枚

□リモコン:1個



※ CD-ROM 内のソフトウェアの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

動作条件

コンピューター	USB ポート(2.0 準拠)を搭載し、1920×1080 の解像度が出力できる PC/AT 互換機
OS	Windows 7(32 ビット版/ 64 ビット版)、Windows 8(32 ビット版/ 64 ビット版)、 Windows 8.1(32 ビット版/ 64 ビット版)
CPU	インテル Celeron または AMD Sempron 1.6GHz 以上 インテル Core 2 Duo または AMD Athlon II X2 2.8GHz 以上を推奨
メモリー	2GB以上
ハードディスク	空き容量 200MB 以上(データ保存のための空き容量が別に必要)

タッチパネルを使用するには、本機の USB ケーブルをコンピューターに接続する必要があります。 タッチパネルは、Windows 標準ドライバーで動作します。

各部の名前



リモコン受光部(13ページ)
 電源ランプ(14ページ)
 3スピーカー



④赤外線受発信部⑤トレー(35ページ)

⑥ 通風孔 ⑦ POWER (電源) ボタン (14 ページ) ⑧ MENU (メニュー) ボタン (18 ページ) ⑨ INPUT/ENTER (入力切換/実行)ボタン (18ページ) ⑩ カーソル (▶ / ◀ / ▲ / ▼) ボタン ① VOL + / - (音量調整) ボタン(18ページ) 12 電源ケーブル(約3m) 13 USB ケーブル(タッチパネル用) (④ HDMI3 入力端子 (INPUT3) 15 HDMI2 入力端子(INPUT2) ¹⁶ HDMI1 入力端子(INPUT1) ① 音声入力端子(INPUT2/6 用) 18 音声入力端子(INPUT4用) 19 AV コンポーネント入力端子(INPUT4) 20 AV ビデオ入力端子 (INPUT5) ② 音声入力端子(INPUT5 用) ② 音声出力端子 23 D-sub 入力端子(INPUT6) @ 音声デジタル出力端子 ²⁵ RS-232C 入力端子



- ① **発信部**
- ② POWER (電源) ボタン (14 ページ)
- ③ **MUTE(消音)ボタン**(18 ページ)
- ④ VOL + / (音量調整) ボタン (18 ページ) カーソル (▲ / ▼ / ◄ / ►) ボタン
- ⑤ DISPLAY/F1 (状態表示) ボタン (18 ページ)
- ⑥ MODE/F2 (AV モード切換) ボタン (18 ページ)
- ⑦ INPUT (入力切換) ボタン(18ページ)
- ⑧ MENU (メニュー表示) ボタン (18 ページ)
- ⑨ ENTER (実行) ボタン(18ページ)
- 10 RETURN (戻る) ボタン(18ページ)
- ① SIZE/F3 (画面サイズ切換) ボタン(18ページ)

設置について

- 本機は屋内用です。
- ・ VESA 規格に準拠したスタンドや取り付け金具が必要です。
- 本機は重量がありますので、設置や取り外し、移動の際は お買いあげの販売店にご相談ください。
- 本機を壁掛けや天吊りなどで使用する場合は、特別な技術による工事が必要です。工事は、専門の取り付け工事業者にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わないでください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
- ・ 本機は水平面に対し垂直の状態で使用してください。
- 移動するときなどは、本体側面と本体底面部を持ってくだ さい。画面やトレーを持たないでください。破損や故障、 けがの原因となることがあります。
- ・本機は周囲温度 5℃~35℃の範囲内でご使用ください。 熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。



- ケースに入れて設置するなど空間の確保が困難な場合、周 囲温度が5℃~35℃を超える場合は、ファンを設けるな ど、周囲温度が5℃~35℃になるよう対処してください。
- 通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がる と故障の原因となることがあります。
- ・ 発熱する機器の上に本機を置かないでください。
- ・ 直射日光やライトなどの強い光が当たる場所で使用しない でください。本機は赤外線を利用したタッチパネルのため、 正しく動作しない場合があります。
- 本機を2台以上接近して使用する場合は、赤外線受発信部 が他のディスプレイの赤外線受発信部に影響を与えないようにしてください。

機器の接続



ご注意

- 接続ケーブルの取り付け/取り外しは、電源を切り、コン セントから電源プラグを抜いてから行ってください。接続 する機器の説明書も併せてご覧ください。
- ・ 接続の際、入力端子と出力端子を間違えないように注意してください。誤動作や故障の原因となる場合があります。
- ・端子が破損・変形したケーブルを使わないでください。無
 理に接続すると故障の原因となる場合があります。

ご参考

- タッチパネルを使用するときは、USB ケーブルをコン ピューターに接続します。
- 接続するコンピューター(ビデオカード)によっては、正しく表示されないことがあります。
- 「PC (INPUT6)」でコンピューターの画面を初めて表示 するときや、そのコンピューターの設定を変更したあと には、画面の自動調整を行ってください。設定メニュー 「Option」の「Fine sync.」、「Auto sync.」で自動画面 調整されます。
- 再生機器からスピーカーなどへ音声を直接出力した場合、
 本機の映像が音声から遅れる場合があります。
 再生機器と本機の音声入力端子、本機の音声出力端子とス
 ピーカーなどを接続し、本機経由で音声を出力してください。

① HDMI1 入力端子(INPUT1)

② HDMI2 入力端子(INPUT2)

③ HDMI3 入力端子(INPUT3)

- 市販の HDMI ケーブル (HDMI 規格認証品) で接続します。
- HDMIから画像のみを入力し、音声をアナログで入力する ときは、HDMI2入力端子に接続し、設定メニュー「Option」の「Audio select」で「HDMI+Analogue」を選択して ください。「HDMI」の場合、音声入力端子への接続は不要 です。

- ④ D-sub 入力端子(INPUT6)
- ・ 市販の信号ケーブル (ミニ D-sub 15 ピン) で接続します。
- ⑤ 音声入力端子(INPUT2/6 用)
- 市販の音声ケーブル(ミニステレオジャック)で接続します。音声ケーブルは抵抗がないものを使ってください。
- ⑥ AV コンポーネント入力端子(INPUT4)
- ・ 市販のコンポーネントケーブル (RCA) で接続します。
- AV ビデオ入力端子として使用することができます。
 「Video」端子に接続し、設定メニュー「Option」の「Input select」で「VIDEO」に切り換えてください。
- AV ビデオ入力端子(INPUT5)
- ・ 市販のビデオ映像ケーブル (RCA) で接続します。
- ⑧ 音声入力端子(INPUT5 用)
- ・市販の音声ケーブル (RCA) で接続します。
- ⑨ USB ケーブル
- コンピューターでタッチパネルを使用するとき、この USB ケーブルを使ってコンピューターに接続します。
 付属の USB 延長ケーブル(約 3m)を使用して、延長す ることができます。
- ⑩ RS-232C 入力端子
- 市販の RS-232C クロスケーブルを使ってコンピューター に接続すると、本機をコンピューターから制御することが できます。
- ① 音声入力端子(INPUT4 用)
- 市販の音声ケーブル (RCA) で接続します。
- 12 音声デジタル出力端子
- 本機に入力された音声が出力されます。
- 市販の音声デジタルケーブルで接続します。
- ・出力される音声は、入力モードにより異なります。
- ・ 音量調整で音量が調整できます。

13 音声出力端子

- 本機に入力された音声が出力されます。
- ・ 市販の音声ケーブル(RCA)で接続します。
- ・出力される音声は、入力モードにより異なります。
- ・ 音量調整で音量が調整できます。

電源の接続



電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する 指定以外の電源を使用すると、火災の原因となること

皆告 があります。

ご注意

すべての接続を終えてから、電源を接続してください。



ケーブル処理のしかた

電源ケーブル、USB ケーブル、ディスプレイ後面に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプ(貼付式)で固定することができます。

ご注意

- ・ 付属のケーブルクランプは、平らな面に貼り付けてください。通風孔などには貼り付けないでください。
- ・貼付面のほこりなどを取り除いてから、貼り付けてください。



スタンド穴保護用カバーの付けかた



設置終了後、付属のスタンド穴保護用力バーを貼ってください。

1. シールをはがし、本体に貼る。

リモコンの準備

電池の入れかた

1. カバーを軽く押し下げ、矢印の方向へ押す。



- 2. 付属の乾電池(単3形×2本)をリモコンに入れる。 リモコン内部の表示に従って、プラス(+)とマイナス(-) の向きを正しく入れてください。
- 3. カバーを元に戻す。

ご参考

- 電池が消耗したときは、早めに新しい乾電池(市販品)と 交換してください。
- ・ 付属の乾電池(単3形×2本)は保管状態により短期間 で消耗することがあります。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出し ておいてください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用して ください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から約5m、上下左右に約10°以内です。



ご参考

- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故 障の原因となります。
- 水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
- ・ リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリ モコンが動作しにくくなります。
- ・リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がある と、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- ・ 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

電源の入/切をする

ご注意

- ・すべての接続を終えてから、電源を入れてください。
- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の 電源を入れてください。
- ・本体の POWER ボタンで電源を切っても、電源コードを 接続している場合は微小な電力が消費されています。

電源を入れる / 切る

1. 本体の側面の POWER ボタンを押し、電源を入れる。 電源ランプが緑色に点灯します。



電源ランプの状態	本機の状態
消灯	電源「切」
緑色点灯	動作状態
赤色点灯	待機状態

2. リモコンの POWER ボタンで電源を入 / 切する。

本体のリモコン受光部(13ページ)に向けて、リモコン の POWER ボタンを押します。



ご注意

- ・電源コードの抜き差しや、ブレーカーによる電源の切/入 を行った場合、システムの起動が遅くなる場合があります。
- ・電源の切/入は、必ず約5秒以上の間隔を空けてください。 間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

タッチ操作

タッチ操作

本機で使用できるタッチ操作は、OS やアプリケーションに より異なります。また、そのタッチ操作による働きも異なり ます。詳しくは、Windows のヘルプやアプリケーションの 説明書でご確認ください。

OS タッチ操作	Windows 8/8.1	Windows 7
シングルタップ	0	0
ダブルタップ	0	0
スワイプ	0	0
画面端からのスワイプ	0	×
ドラッグアンド ドロップ	\bigcirc	0
フリック	0	0
プレスアンドホールド	0	0
スライド/パン	\bigcirc	0
ズーム	0	0
プレスアンドタップ	×	0
ローテート	0	0

ダブルタップ

マウスのダブルクリックとして動作します。 指/タッチペンで素早く 2 回タッチしてください。



指でダブルタップするときは、1度目のタッチのあと、指を 画面から十分に離してください。距離が十分でない場合、ダ ブルタップできません。

スワイプ

指/タッチペンで触れたあと、離さないまま移動し止めます。

ご参考

- Windows 7 でコントロールパネルの「ペンとタッチ」の「マルチタッチジェスチャとインクを有効にする」のチェックが外れている場合は、チェックしてください。
- ペンソフトでのタッチペンの使いかたは、ペンソフト取扱 説明書をご覧ください。

■ 指/タッチペン共通の操作

シングルタップ

マウスの左クリックとして動作します。 指/タッチペンでタッチしてください。





画面端からのスワイプ

画面端を指/タッチペンで触れたあと、離さないまま横に移動し止めます。



ドラッグアンドドロップ

マウスのドラッグアンドドロップとして動作します。 指/タッチペンで触れたあと、離さないまま移動します。移 動が完了すると、指/ペンを離します。



フリック 指/タッチペンを行いたい機能がある方向へ弾くように移動 させます。



プレスアンドホールド

マウスの右クリックとして動作します。 指/タッチペンをしばらく押さえてから、指/タッチペンを 離します。



スライド/パン 指/タッチペンを触れたまま動かし、画面をスクロールさせ ます。



■ 指の操作

ズーム

拡大/縮小ができる画面で使います。 2本の指で画面に触れ、そのまま2本の指を近づけると、画 面が縮小します。離すと画面を拡大します。



プレスアンドタップ

マウスの右クリックとして動作します。 1本の指で画面を触れたまま、もう1本の指で画面をシング ルタップします。



ローテート

回転表示ができる画面で使います。 回転する中心点を1本の指で触れます。その指はそのまま動 かさず、もう1本の指で回転させる方向に指を動かします。



ご参考

- ・以下の場合は、正しく動作しない場合があります。
 タッチ動作が素早いとき
 2 点間の距離が小さいとき
 2 点が交差するとき
- タッチペンで操作することはできません。

タッチペンについて



ご参考

ペン先が消耗・破損したときは、ペン先を交換してください。ペン先の購入については、お買いあげの販売店にご相談ください。



その他の機能について

Windows 8/8.1 では、入力パネルの機能が使えます。 Windows 7 では、タッチポインター、入力パネルの機能が 使えます。

それぞれの機能については、Windows のヘルプを参照して ください。

タッチポインター:

タッチした付近にマウスのような半透明の画像が表示されます。その画像の左/右ボタンをクリックすると、マウスの左/右クリックと同じ働きをします。

入力パネル:

画面上にソフトウェアキーボードと手書き認識を持つ入力 パネルが表示されます。

Windows 7(Starter は除く)/8/8.1 で Microsoft Office のインク機能を利用することができます。 手書きのコメントを書いたり、手書き認識をすることができます。 詳細は、Microsoft Office のヘルプを参照してください。

使用上のご注意

- タッチペンは、タッチパネルの操作以外に使用しないでく ださい。
- ペン先を強く押さえないでください。
- 赤外線受発信部と操作するタッチペン・指の間に、障害物があると正しく動作しません。タッチペンを持つ指や服の袖が画面近くにあっても正しく動作しません。
- タッチ時にタッチペンを倒し過ぎると、タッチ位置が正しく検出できない場合があります。
- ・ 画面の端で入力できない場合は、タッチペンをゆっくり動かしてください。
- インバーター蛍光灯が近くにある場合、正しく動作しない 場合があります。
- タッチペンのペン先に汚れや異物が付いている場合は、取り除いてください。画面が傷つく原因となります。
- ログイン時の画面でペンの位置がずれる場合があります。 その場合は、キーボードやマウス等で操作してください。
- USB ケーブルが抜けた場合、USB ケーブルを接続し直してもタッチパネルが正しく動作しない場合があります。その場合は、コンピューターを再起動してください。
- ペン先や指を画面から離すときは、十分に離してください。
 距離が不十分な場合、画面に触れていなくてもタッチと認識されます。

基本的な操作

■本機のボタン

-(3)

-1/6

(5)

(4)

リモコン / 本機のボタンで操作する

■リモコン



① INPUT(入力切換)

メニューが表示されます。 📤 🏲 で入力モードを選び 🎬 で決定します。

入力モード	映 像
HDMI1	HDMI1 入力端子(INPUT1)
HDMI2	HDMI2 入力端子(INPUT2)
HDMI3	HDMI3 入力端子(INPUT3)
INPUT4	AV コンポーネント入力端子(INPUT4)*
INPUT5	AV ビデオ入力端子(INPUT5)
PC	D-sub 入力端子(INPUT6)

※ INPUT4 は、AV ビデオ入力端子として使用すること もできます。(11 ページ)

- 入力モードの切り換えに合わせて、タッチパネルとの接続 も切り換わります。
- 音声は INPUT1 から INPUT6 のそれぞれの端子に対応した音声入力端子が選択されます。

② MUTE(消音)

音声を一時的に消します。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

③ MENU(メニュー表示)

メニューが表示されます。 メニューについて詳しくは 20 ページを参照してください。

④ VOL +/- (音量調整)/ カーソル

メニューが表示されていないときに、
やや
を押すと音量
メニューが表示され、音量を調整します。

※ 音量メニューを表示したあと、約3秒間何も操作しないと 通常画面に戻ります。

各種設定を行うときは、カーソルを上下に動かします。

⑤カーソル

各種設定を行うときに、カーソルを左右に動かします。

⑥ ENTER (実行)

設定を確定します。

⑦ RETURN (戻る)
 前の画面に戻ります。

8 SIZE/F3(画面サイズ切換)

メニューが表示されます。
で画面サイズを選びます。
(19ページ)

Colour adjustment 設定時に使用します。(21ページ)

⑨ DISPLAY/F1(状態表示)

入力信号や入力端子を確認することができます。 ・約15秒経過すると、表示は自動的に消えます。 Colour adjustment 設定時に使用します。(21ページ)

10 MODE/F2(AV モード切換)

押すたびに以下の順で AV mode(21 ページ)を切り換え ます。

 $\label{eq:product} \begin{array}{l} \mathsf{PC} \rightarrow \mathsf{DYNAMIC} \rightarrow \mathsf{DYNAMIC} \ (\mathsf{FIXED}) \rightarrow \\ \mathsf{STANDARD} \rightarrow \mathsf{MOVIE} \rightarrow \mathsf{PC} \cdots \end{array}$

Colour adjustment 設定時に使用します。(21ページ)

■ 画面サイズ切換について

入力信号によっては、画面サイズを切り換えても表示が変わらない場合があります。



※ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。 このようなときは、画面サイズ切替を「FULL」にしてください

ご参考

- ・営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切換機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- オリジナル映像(外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像)の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部 見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「4:3」 にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサ イズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障では ありません。
- ・オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が残る場合があります。

各種設定メニュー

メニューの基本操作

映像・音声などの調整や各種機能の設定をすることができま す。ここではメニューの使いかたについて説明します。各項 目の詳細は、21 ~ 23 ページをご覧ください。

こ注意

 メニューなどの表示中に、電源を切らないでください。設 定内容が初期化される場合があります。

■ 操作例

- (「Picture」メニューの「Contrast」を調整する。)
- 1. ____を押し、メニュー画面を表示する。
- 2. _ C [Picture] メニューを選ぶ。
- 3. _ で「Picture adjust」を選び、 ENTER を押す。
- 4. 📥 洒 で設定項目(「Contrast」)を選ぶ。
- 6. (MENU)を押し、メニュー画面を閉じる。

ご参考

・メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

メニュー項目の詳細

メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

Picture

AV mode

映画やコンピューターのモニター画像などそれぞれのシーンに応じた画像や音声に設定を切り換えます。 PC..... コンピューターの使用に適した設定を行います。 DYNAMIC.....コントラストを高く調整し、スポーツ動画などに適した設定を行います。 DYNAMIC (FIXED)......「DYNAMIC」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。 この設定のときは、設定の変更はできません。 STANDARD......明るい室内で表示するのに適した設定を行います。 MOVIE..... 映画の上映に適した設定を行います。

Picture adjust

Clear picture processing

画質を改善するための処理を行います。

High.....「Middle」以上のレベルで鮮明な画像処理により画質を向上させます。

Middle......鮮明な画像処理により画質を向上させます。

Off...... 画像処理を行いません。

「Clear picture processing」の画像処理の効果は、特定の画像には適さない場合があります。その場合は、「Middle」ま たは「Off」に設定を変更してください。

Backlight

バックライトの明るさを調整します。

Contrast

画像のコントラストを調整します。

Brightness

画像の明るさを調整します。

Colour

色の濃さを調整します。

Tint

肌色のトーンを調整します。 ←で赤色に、 ←で緑色にトーンを調整します。

Sharpness

画像のシャープさを調整します。

Fine motion

動きの速い画像を表示するときに使用します。

DNR (Digital Noise Reduction)

画面上のノイズを低減し、鮮明な画像に調整します。

設定を強くするほどノイズは少なくなりますが、動画がぼける場合があります。

Wide mode

SIZE ボタンを押した設定と同じ設定を行います。設定内容に関しては 19 ページをご覧ください。

Colour adjustment

画像の色調を詳細に設定します。

- 白色を緑色のトーンに調整します。 -
- ▲ …… 白色を赤色のトーンに調整します。
- う…… 白色を青色のトーンに調整します。

)...... 白色を黄色のトーンに調整します。

- 設定画面の表示 / 非表示を設定します。
- ┘…… 最後に保存された設定に従って、画像調整を行います。
-現在の設定を保存し、設定を終了します。

Reset

Picture メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

Audio

Sound adjust

<u>Treble</u>

高音の音量を調整します。

Bass

_____ 低音の音量を調整します。

Balance

音声の左右のバランスを調整します。

Reset

Audio メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

Eco

No signal off

画像信号を受信していない状態が15分続いた場合、自動的に本機の電源を切ることができます。 電源オフの5分前に、残り時間が分ごとに表示されます。

No operation off

操作が一定時間以上行われない場合に、自動的に本機の電源を切ることができます。 30 min......30 分操作しない場合に電源を切ります。 3 hr......3 時間操作しない場合に電源を切ります。 Disable......この機能を使用しません。 電源が切れる5分前に、残り時間が分ごとに表示されます。

Setup

HDMI auto view

HDMI に接続した機器から受信した信号に基づいて、画像サイズの自動選択を使用するかどうかを設定します。

Quick start

本機の起動時間を短縮することができます。設定を有効にすると、起動時間は短縮できますが、消費電力が増えます。

Identification

現在のソフトウェアのバージョンを確認することができます。

Reset

Setup メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

Option

Output volume select

音量調整ができる音声出力を、内蔵のスピーカーか音声出力端子のどちらかに切り換えます。

Fixed.......スピーカーの音量が調整できます。音声出力端子の音量は調整できず、一定の音量で出力されます。 Variable......スピーカーは消音状態となり、音声出力端子の音量が調整できます。

Input select

INPUT4 入力が設定されているときに、AV コンポーネント入力か AV ビデオ入力のどちらかを設定します。

Audio select (HDMI2 入力端子のみ)

HDMI2 入力端子の音声入力をアナログか HDMI のどちらかに切り換えます。

Digital audio output (デジタル出力端子のみ)

デジタル出力端子で使用する信号を設定します。

Fine sync. (D-sub 入力端子のみ)

Input signal

D-subの入力信号が判別できないときに、手動で信号に対する解像度の設定を行います。「1280 x 768」「1360 x 768」から選択してください。

Auto sync.

現在入力されている映像信号を使って、「Clock」「Phase」「H-Position」「V-Position」を自動的に調整します。 RGB 入力端子を使ってコンピューターの画面を初めて表示させるときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、 自動調整を行ってください。

<u>H-Position</u>

映像の左右の位置を調整します。

V-Position

映像の上下の位置を調整します。

<u>Clock</u>

該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。

縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。調整用パターン(24 ページ)を利用するときは、調整用パターンに 縦じま状のノイズが出ないように調整してください。

<u>Phase</u>

該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。

細かな文字などを出したときにコントラストがつかなかったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。 調整用パターン(24 ページ)を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。 ※「フェーズ」の調整は、「クロック」を正しく調整したあと行ってください。

<u>Reset</u>

Fine sync. メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

System data

USB data trans.

ソフトウェアのアップデート時に使用します。(サービス用)

コンピューター画面の調整について

■ 自動調整

「PC (INPUT6)」でコンピューターの画面を初めて表示する ときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、画 面の自動調整を行ってください。

- **1. 入力を「PC」に切り換え、調整用パターンを表示する**。(下 記)
- 2. ≝™を押し、 **●** で Option メニューを表示する。
- 3. _ を押して、「Fine sync.」を選択し、 ででを押す。
- 4. 📥 🏲 を押して、「Auto sync.」を選択する。
- 5. 🛄を押す。
 - 数秒後に自動調整が完了します。
- 6. 一を押して、メニュー画面を閉じる。

ご参考

1回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を
 2~3回繰り返してみてください。さらに必要に応じて、
 手動で微調整を行ってください。

■ 調整時の画面表示

画質や映像を調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るく なるような画像を表示してください。Windows をお使いの 場合は、CD-ROM(付属)内の調整用パターンを利用してく ださい。

調整用パターンの表示

Windows 7 を例に説明します。

- 1. CD-ROM (付属) をコンピューターの CD-ROM ドライ ブにセットする。
- 2.「コンピューター」の CD-ROM を開く。
- 3. [Monitor] フォルダーの [Adj_uty.exe] をダブルクリッ クする。

調整用パターンが表示されます。

自動または手動による調整を行ってください。



- **4. 調整が終わったら、コンピューターの [Esc] キーを押す**。 調整用パターンが消えます。
- 5. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

ご参考

使用するコンピューターの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

で本機を制御する(RS-23)

コンピューターの RS-232C (COM ポート)を利用して、 コンピューターから本機を制御することができます。

接続のしかた

■ コンピューターと接続する

コンピューターの COM ポート (RS-232C コネクター) と 本機の RS-232C 入力端子を RS-232C ケーブル(クロス) で接続します。



コンピューターで本機を制御する場合は、「Quick start」を 「On」に設定してください。(22ページ)

通信仕様

コンピューター側の RS-232C 通信仕様を次のように設定し てください。

ボーレート	9600bps	ストップビット	1ビット
データ長	8ビット	フロー制御	なし
パリティ	なし		

通信	手順	

■ コマンド

コンピューターから本機にコマンドを送ると、それに応じた レスポンスが返ってきます。

									改行]—
С	1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	, J	
	コマンド部分 (規定の英数4文字) の構成される4文字)									
[例] VOLM030_										
ж J	رات	Х—2	ター部	分が∠	1文字	に足り	ない場	易合は、	スペー	ース

(「」」)で4文字になるように調整してください。 (「□」は改行コード(ODH、OAH または ODH)) × VOLM30 🗔 ○VOLM030 □

■ レスポンス

コマンドが正しく実行された場合



コマンドの終了後、返信されます。

コマンドが実行できなかった場合



ご参考

- 該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できな いコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- コンピューターと本機の接続が不完全な場合など、通信自 体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。
- ・周囲環境によるノイズ等が原因で、正しくコマンドが受信 できず「ERR | が返信される場合があります。システムや ソフトウェアで、コマンドの再送信(リトライ)を行う等 配慮してください。

■ 通信間隔について

- ・ 必ず OK または ERR が返ってきたあとに次のコマンドを 送信してください。 また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設 定するときは、10秒以上に設定してください。
- コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、 100ms以上の間隔を空けてください。

RS-232C コマンド一覧表

コマンド一覧表の見かた

コマンド:	コマンド部分(25 ページ)
パラメーター:	パラメーター部分(引数)(25 ページ)
「∗」:	設定内容のカッコ内の数字を入力
	スペースを入力

下の表に掲載されていないコマンドについては、動作保証対象外です。

設定項目		コマ	ンド	:	パラメーター		-	設定内容	
電源制御	Ρ	0	W	R	0				電源待機状態へ移行
	Ρ	0	W	R	1				電源「入」状態へ移行
入力切換		T	G	D					トグルで入力端子を切り換えます。
		Α	V	D	*				INPUT1 ~ 6 端子に切り換えます。(1 ~ 6)
AV mode 切換	Α	V	Μ	D	0				トグルで AV mode を切り換えます。
	Α	V	Μ	D	1				「STANDARD」に切り換えます。
	Α	V	Μ	D	2				「MOVIE」に切り換えます。
	Α	V	Μ	D	5				「DYNAMIC」に切り換えます。
	Α	V	Μ	D	6				「DYNAMIC (FIXED)」に切り換えます。
	Α	V	Μ	D	7				「PC」に切り換えます。
音量調整	V	0	L	M	*	*	*		音量を設定します。(0~100)
画面調整	Н	P	0	S	*	*	*		映像の左右の位置を設定します。(000 ~ 180)(D-sub 入力のみ)
	V	P	0	S	*	*	*		映像の上下の位置を設定します。(000 ~ 120)(D-sub 入力のみ)
	С	L	0	K	*	*	*		該当映像のサンプリングクロックの周波数を設定します。
									(000~180)(D-sub 入力のみ)
	Ρ	Н	S	E	*	*	*	Γ	該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。
									(000~015)(D-sub 入力のみ)
画面サイズ	W		D	E	0				トグルで画面サイズを切り換えます。
	W		D	E	7				「4:3」モードで表示します。
	W		D	E	9				「Full」モードで表示します。
	W		D	E	1	0			「Dot by Dot」モードで表示します。
	W		D	E	1	1			「Normal」モードで表示します。
消音	Μ	U	Т	E	0				トグルで消音 / 消音解除を切り換えます。
	M	U	Т	Ē	1				消音します。
	Μ	U	Т	E	2				消音を解除します。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確 認ください。

アフターサービスについては 29 ページをご覧ください。

映像も音声も出ない

- ・ 電源は入っていますか。(14ページ)
- ・入力切換は正しく選択されていますか。(18ページ)
- 外部機器を接続している場合、機器側が動作(再生)状態 になっていますか。

リモコンが動作しない

- ・ 電池の極性(+、-)が逆になっていませんか。(13ページ)
- ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。(13ページ)

音が左右逆になる

片方しか音が出ない

- ・ 音声用のケーブルは正しく接続されていますか。(11ページ)
- 「Audio」メニューの「Balance」の設定を確認してください。(22ページ)

映像は出るが音声が出ない

- ・ 消音になっていませんか。(18ページ)
- 音量調整が最小になっていませんか。(18ページ)
- 音声ケーブル(市販品)は接続されていますか。
- 「Option」メニューの「Output volume select」の設定 は正しいですか。(23ページ)

映像が乱れる

- 対応可能な信号でない場合が考えられます。(32~33 ページ)
- •「PC (INPUT6)」で使っている場合、画面の自動調整を行ってみてください。(24ページ)

HDMI 入力端子の映像が正しく表示できない

- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証品ですか。規格外のケー ブルでは正しく動作しません。
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(32~33 ページ)

D-sub 入力端子の映像が正しく表示できない

・入力信号は、本機が対応している信号ですか。(32ページ)

操作ボタンが効かない

画面に何も映らない

外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。一度本体の電源を入れ直し、動作を確認してください。(14ページ)

タッチパネルが反応しない

- USB ケーブルは正しく接続されていますか。
- タッチペンのペン先が消耗していませんか。ペン先を交換してください。(17ページ)
- 付属の USB 延長ケーブルを使用してください。市販の USB ケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があ ります。また、付属の USB 延長ケーブルの長さより長く してお使いになりたい場合は、リピーター付き USB ケー ブルで延長してください。

タッチパネルの反応が遅い 反応しない箇所がある

異なる場所にタッチされる

- 直射日光や強い光が当たっていませんか。本機は赤外線を利 用したタッチパネルのため、正しく動作しない場合がありま す。
- 赤外線受発信部と操作するタッチペン・指の間に、障害物はありませんか。障害物があると正しく動作しません。タッチペンを持つ指や服の袖が画面近くにあっても正しく動作しません。
- 赤外線受発信部が汚れていませんか。汚れは柔らかい布で 軽くふきとってください。
- 約8mm×約8mmより細いものでタッチしても、赤外線で検出できず正しく動作しない場合があります。
- コンピューター起動時やUSBケーブル接続時は、タッチ パネルに触らないでください。タッチパネルに触れると、 赤外線受発信部の素子不良として検出され、正しく動作し ない場合があります。
- 2本のタッチペンを使用しているとき、正しく書けない場合があります。
 - ペン同士が近づいたとき
 - ペンを斜めにして書いたとき

電源ランプが赤色に点滅している

・ハードウェアの異常です。電源を切ったあと、お買いあげの 販売店、またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。

電源ランプが緑色に点滅している

•本体の内部温度が高温になっています。温度が上昇した原 因を取り除いてください。

ときどき"ピシッ"と音がする

• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音で す。性能その他に影響はありません。

電源ランプが点滅している

画面の隅に「TEMPERATURE」と表示されている

- ・ 温度異常を防止するために、本体の内部温度が高温になると、 「TEMPERATURE」と表示されます。
- さらに内部温度が上昇すると、本機は自動的に電源待機状態 になります。(電源ランプは緑色が点滅します。)
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。
 - 温度が上昇して電源待機状態になったときは、本機の電源を入れ直すことで表示状態に戻せますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。(10ページ)
 - 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本体後面などの通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
 - 本機の内部や通風孔にほこりがたまっていると、内部の 温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるほこ りはこまめに取り除いてください。内部のほこりの除去 については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓 口にご相談ください。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて 所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みの うえ大切に保存してください。

保証期間はお買いあげの日から1年間です(ただし、光源の LED バックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象に なりません)。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証 書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限ら せていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担 となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作 業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 修理を依頼されるときは(出張修理)

先に「故障かな?と思ったら」(27ページ)をお読みのうえ、 もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用 をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの 販売店またはもよりのお客様ご相談窓口(セットアップマニュ アル)にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。 たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・品名:インフォメーションディスプレイ
- ・形名: PN-C603B
 (取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。)
- •お買いあげ日(年月日)
- •故障の状況(できるだけ具体的に)
- ・ご住所(付近の目印も併せてお知らせください。)
- ・お名前
- •電話番号
- ・ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させて いただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で 修理させていただきます。

<u>修理料金のしくみ</u>

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの 販売店またはもよりのお客様ご相談窓口(セットアップマニュ アル)にお問い合わせください。



■ 製品仕様

形名			PN-C603B		
液晶表示素子			60V型ワイド(対角152.5cm)TFT液晶		
最大解像度			1920×1080		
最大表示色			約1677万色		
画素ピッチ			水平0.692mm×垂直0.692mm		
輝度(標準値)			300cd/m ² %1		
コントラスト比(標準(直)		3000:1		
視野角			左右160°/上下160°(コントラスト比≧10)		
表示画面サイズ			横1329.1mm×縦747.6mm		
映像入力信号			アナログRGB(0.7Vp-p)[75Ω]、HDMI1.3準拠		
同期入力信号			水平/垂直セパレート(TTL:正/負)		
ビデオ信号方式			NTSC(3.58MHz)		
プラグ&プレイ			VESA DDC2B対応		
入力端子	PC/AV		HDMI(3系統)		
	PC		ミニD-sub15ピン(3列)(1系統)		
	音声		φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)		
	AV	ビデオ映像	RCA(2系統) ※2		
		コンポーネント映像	RCA(Y, Cb/Pb, Cr/Pr)(1系統) ※2		
		音声	RCAピン(L/R)(2系統)		
	シリアル(R	S-232C)	D-sub9ピン(1系統)		
出力端子	音声		RCAピン(L/R)(1系統)		
	デジタル音	声	角型コネクター(1系統)		
スピーカー出力(内蔵	【 / 外部)		10W+10W/10W+10W 6Ω		
タッチパネル	検出方式		赤外線遮断方式		
	PC接続端	子	USB(2.0準拠)(Bタイプ)(1系統)		
電源			AC100V、2.1A、		
			50/60Hz		
使用温度条件 ※3			5~35°C		
使用湿度条件 ※3			20~80%(結露なきこと)		
消費電力			180W/0.3W		
(最大/電源待機時 ※4)					
外形寸法(突起部を隙	余く)		幅約1403 mm×奥行約90 mm×高さ約858 mm		
質量			約42 kg		
梱包時寸法/質量			幅約1558 mm×奥行約281 mm×高さ約984 mm/約53 kg		

※ 1 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持す るものではありません。

※2 ビデオ画像の1系統とコンポーネント画像を同時に使用することはできません。

※3 接続するコンピューター等の条件も確認し、それらすべてを満たす条件内でご使用ください。

※ 4「Quick start」が「Off」の場合。「Quick start」が「On」の場合は、22W 以下。

■ 寸法図

数値はおよその値です。



※ VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ +8 ~ 10mm のものを使用してください。

■ PC 対応信号タイミング

※ 接続するコンピューターによっては、下記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	デジタル	アナログ
		(kHz)	(Hz)	(MHz)	HDMI	(D-SUB)
VESA	640×480	31.5	60	25.175	0	O*1
		37.9	72	31.5	0	0
		37.5	75	31.5	0	0
	800×600	35.1	56	36.0	0	0
		37.9	60	40.0	0	0
		48.1	72	50.0	0	0
		46.9	75	49.5	0	0
	848×480	31.0	60	33.75	0	0
	1024×768	48.4	60	65.0	0	0
		56.5	70	75.0	0	0
		60.0	75	78.75	0	0
	1152×864	67.5	75	108.0	0	0
	1280×768	47.8	60	79.5	0	0
		60.3	75	102.25	0	0
	1280×800	49.7	60	83.5	0	0
	1280×960	60.0	60	108.0	0	0
	1280×1024	64.0	60	108.0	0	0
		80.0	75	135.0	0	0
	1360×768	47.7	60	85.5	0	0
	1400×1050	65.3	60	121.75	0	0
	1440×900	55.9	60	106.5	_	_
	1600×1200*2	75.0	60	162.0	0	0
	1920×1200*2	74.0	60	154.0	0	0
ワイド	1280×720	44.7	60	74.4	0	0
	1920×1080	67.5	60	148.5	0	0
US TEXT	720×400	31.5	70	28.3	0	0
Sun ^{*3}	1024×768	48.3	60	64.13	0	0
		53.6	66	70.4		
		56.6	70	74.25	0	0
	1152×900	61.8	66	94.88	—	_
		71.8	76.2	108.23		
	1280×1024	71.7	67.2	117.01		_
		81.1	76	134.99	—	
	1600×1000	68.6	66	135.76	_	

※ 1 Normal 以外では一部の表示です。

※ 2 Dot by Dot では Full 同様に表示します。

※3 Sun の各周波数は参考値です。

HDMI 入力の場合、接続するコンピューターによっては、RGB レンジが合わず、黒色が浮いたり階調がつぶれたりします。その場合は、コンピューターのビデオカードをフルレンジの設定にするか、Contrast、Brightness の調整を行ってみてください(21 ページ)。

■ AV 対応信号タイミング

画面解像度	周波数(Hz)	HDMI	コンポーネント
1920×1080p	24	0	—
	50	0	0
	59.94	0	0
	60	0	0
1920×1080i	50	0	\bigcirc
	59.94	0	0
	60	60 O	
1280×720p	50	0	0
	59.94	0	0
	60	0	0
720×576p	50	0	0
720×480p	59.94	○*	—
	60	○*	—
640×480p(VGA)	59.94	0	—
	60	0	—
720(1440)×576i	50	0	0
720(1440)×480i	59.94	0	0
	60	0	0

※ Normal 以外では一部の表示です。

■ DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESAのDDC(Display Data Channel) 規格をサポートしています。

DDC とは、ディスプレイとコンピューターのプラグ&プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピューターの間 で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピューターが DDC に対応しており、プラグ&プレイモニター を検出する設定になっている場合に使用できます。

DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2B に対応しています。

■ D-sub 入力端子ピン配列 (ミニ D-sub 15 ピン)



番号	機能	番号	機能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
З	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■ HDMI 入力端子のピン配列

(HDMI[™] Connector)



番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2+	11	TMDSクロックシールド
2	TMDSデータ2シールド	12	TMDSクロックー
З	TMDSデータ2ー	13	CEC
4	TMDSデータ1+	14	N.C.
5	TMDSデータ1シールド	15	SCL
6	TMDSデータ1ー	16	SDA
7	TMDSデータ0+	17	DDC/CEC GND
8	TMDSデータ0シールド	18	+5V
9	TMDSデータ0-	19	ホットプラグ検知
10	TMDSクロック+		

設置時の注意事項(ご販売店・設置業者様用)

- ・ 設置や取り外し、移動の際は、3人以上で行ってください。
- ・ 取り付け金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ+8~10mm のものを使用してください。
- ・壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所(コンクリートの壁や柱など)に 取り付けてください。
- インパクトドライバーを使用しないでください。
- 本機を設置したあとは転倒防止策を実施することをお勧めします。
- ・ 後面の VESA ホール以外のネジ穴を設置に使わないでください。

■ トレーの付けかた

トレーを、トレー取付ネジ M3(付属)5個で固定します。



シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号 ビジネスソリューション事業推進本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地